



副園長 奥村 綾

～敬老保育参加週間～

各クラス、数名ずつのおじいちゃん・おばあちゃんにお越しいただきました。おじいちゃん・おばあちゃんと手を繋ぎ嬉しそうに登園する子もいれば、照れくさそうに保育室へ案内する子、また、慣れない雰囲気泣いてしまう子等、様々な様子の子ども達でした。

うきうきタイムでは、暑い中、一緒に鬼ごっこやサッカー、砂遊びをしてくださったり、孫に言われるがままいろいろな所に連れて行かれているおじいちゃんもいらっしゃいました。フープや一輪車、縄跳び等、おじいちゃん・おばあちゃんに得意げに披露している子もいましたよ。

自己紹介では、好きな果物や乗り物、テレビ番組や遊びなど、子ども達からの質問に笑顔で答えてくださいました。「朝ドラが好き」と答えたおばあちゃんがいらっしゃって「一緒や～！」と喜んでいる子や、「だるまさんがころんだの遊びが好き」という答えに「知ってるーやったことあるー」と盛り上がり、ほのぼのと楽しい雰囲気の朝の活動でした。

今回おじいちゃん・おばあちゃんが来られなかった園児も、自分から話しかけたり、一緒にゲームをしたり、中には、お膝に座らせてもらっている子もいましたよ。

コロナ禍でなかなか幼稚園にお越しいただけなかったという事で、「やっと幼稚園に来れましたわー。」と喜んでおられる方がいらっしゃったり、

「とっても楽しかったです。」「先生方大変ですね。」「疲れましたわ。」「子どもらはパワーあるね。」「子どもから元気をもらいました。」「またこのような機会があればぜひ参加したいです。」等と帰りにお声掛けいただけたり、、、久しぶりに敬老の日の行事を開催することができ、大変嬉しい気持ちになりました。

連日の猛暑の中、参加して下さったおじいちゃん・おばあちゃんどうもありがとうございました。



～お祭り～

1学期に年長組が計画していた『夏祭り』。延期になっていましたが、お祭りプロジェクトチームが、15日は年中・年少さん、16日は年長の保護者の皆さんを招待すると決定し、実行しました。

1日目、年中・年少さんがお祭りに参加しました。始まりの時間になると、スタンバイしていた年長さんが、「もうすぐ来るでー」「どうする!?!」「いっぱい来るかなー」とそわそわしている様子でした。お客さんを迎えるという事で、急にレジを作り出す子もいましたよ。スーパーボールすくい屋さんでは、「お金をくれたらポイと入れ物を渡します。ほんとに持って帰ったらあかんよー。」と年少さんに優しく教えてあげたり、すくいにくそうにしている子の入れ物を横に座って持ってあげたりする姿が見られました。普段あまり小さい子と関わる様子は見られない子の違った一面を見ることができました。

ソーセージ屋さんで1本買いに行くと、「サービスサービス」と3本くれたり、お金を渡すと「おつりです。」とやり取りしたりする等、普段の生活から得た知識や、役割分担をして、友達と一緒にお店やさんを存分に楽しんでいる年長さんでした。

いろいろなお店に買いに行った年中・年少さんは、「お祭り楽しかったー。」「もっと行きたい。」「またお祭りある?」と時間が短くて物足りない様子でしたよ。年長さんからの影響で、自分達もお祭りがしたいと盛り上がっているクラスもあります。

2日目、年長の保護者の皆さんにお越しいただきました。おうちの方が来るのを、心待ちにしていた子ども達。おうちの人が来るまで、何もしないでじっと待っている子や、財布とお金を握りしめ、廊下で座って待っている子もいましたよ。手を繋いで一緒にお店を回る子、自分のお店に呼び込む子、おうちの方が来ていても一緒には回らずずっとお店屋さんに専念する子等、様々な様子の子ども達でした。

クライマックスのしろ組の花火は、1ヶ半月ぶりにするという事で、担任の先生は、練習しなくてできるのかな?と思っていたのですが、自分達で準備をし、戸惑うことなく音楽に合わせて花火を打ち上げることができた姿に、「子どもってすごい!」とびっくりしていました。

「なんか運動会みたい!」と感動で涙を流している保護者の方もいらっしゃいました。

おうちの方に来ていただけたことがほんとに嬉しかった事、また、自分達で計画し実行できた事で満足感や充実感を味わうことができました。お祭りで子どもと一緒にあってお店屋さんを盛り上げてくださった保護者の皆さんどうもありがとうございました。

～運動会に向けて～

育ちの芽 31号でお知らせしたように、今年度は、子ども主体で運動会に向けて取り組んでいる中で、子どもならではの発想や表現がどの学年でも見られます。その経過については、各学年クラスだよりでお伝えしていますので、子ども達が楽しんで取り組んでいる様子を思い浮かべながらご覧いただければと思います。

運動会という行事名も子ども達に考えてもらおうと年長組に提案しましたが、なかなか案が出てこなかったため、「運動会の時ってどんな気持ちがるかな?」と問いかけると、

「わくわく」「おもしろい」「めちゃくちゃたのしい」「どきどき」「わらう」「うれしい」「なみだ」等、たくさんの言葉が出てきました。それを使った名前にしたいという事で、

『わくわくデー』 ～ “おもしろい” “めちゃくちゃたのしい” “どきどき” “わらう” ～に決定しました。

子ども達は、期待に胸を膨らませながら、おうちの方に見に来ていただけることを楽しみにしていますので、どうか温かい目で見守り、当日は、温かい大きな拍手を送ってあげてくださいね。

そして、『上手にできた・できなかった』という視点ではなく、仲間と共に協力し合い、楽しんできた過程を認め『やり遂げた喜び・満足感』などの気持ちに共感し、子どもの意欲や自信につながるような言葉をかけていただければと思います。